

# 保健師職能だより

【発行日】2021年3月発行

【発行責任者】公益社団法人

島根県看護協会 会長 秦 美恵子

【編集】保健師職能委員会

## 「 島根で働く保健師と共に 」

保健師職能委員長 天野和子

この一年、「新型コロナウイルス」の大きな影響を受け、生活のあらゆる場、あらゆる行動で立ち止まり、一息考えて行動する必要にせまられてきました。また、全ての保健師が、感染予防対策の要で働かざるを得ない状況の中で、まずは自分自身が感染しないことに神経を使い、職場内では、常に「保健師さん・・・」と予防と対策を問われ、様々な対応に日々忙しくされていることと思います。

先日開催した保健師職能研修（後述）は、コロナ感染症の理解を深める講義と取組の実践報告をお願いしました。講師陣から「今の取組は、決して特別なことではなく、保健師の日常の活動の中にある事であり、これまでの積み上げの上であり、顔の見える関係が生きる」と話され、私たちがこれまで積み上げてきた取組を評価しながら、一つひとつ丁寧な取組を住民と共に作り上げていくことが重要であることが再確認できました。

それにしても、頻発する自然災害や併走して求められる健康危機管理対応、子育て支援やあらゆる健康課題に対する支援は「切れ目のない支援」をキーワードに多機関・多職種連携で進める必要があります、そのたびに保健師の力量が試されることが多くなりました。

保健活動を考えるときに、平成25年の「保健師活動指針の改定」の内容は基本的で重要な内容と言えます。10項目で示された基本的な方向性は、厳選された重要な項目でもあります。部署横断的な保健活動の推進、地域の包括ケアシステムの構築、そして人材育成！・・・大事ですね。

保健師職能委員会としての研修は、特に新任期を対象として日本看護協会が作成した事例検討の手法を用いた事例検討研修やポピュレーションアプローチの基礎と実践を取り上げてきました。引き続き各職場で実践されていることと思います。事例検討を個人の課題だけに留めず、職場、地域の課題解決につなげることができていますか。まずは職場内で声かけあって事例検討を積み上げていきましょう。コロナ対策もしかり、日常の「PDCAサイクルで保健活動を展開するポピュレーションアプローチ」の点検を「びびっとシート」や「DOシート」のツールで考えてみてはいかがでしょうか。（シートは、日本看護協会のキャリナースからダウンロードできます）

島根県看護協会は、重点目標に「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」として「病院・在宅・地域等の看護連携や多職種連携の強化」と「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの推進」「地域包括ケア推進に向けた支部活動の強化」を掲げています。保健師も支部活動に参加し圏域の中での地域包括ケアを話し合う場に参加すること等、少し意識してできそうなことから始めてみませんか。

看護協会への要望もお聞かせいただき、共に保健師としての「職能」を高める活動を引き続きよろしくお祈りいたします。



### 【令和2年度の保健師職能委員】

委員長：天野 和子（島根県健康福祉部障害福祉課）

- ・林 礼子（益田保健所）
- ・津田 広美（雲南市役所）
- ・渡部 初枝（雲南市立病院）
- ・湯浅百合恵（浜田市役所）
- ・石田 順子（山陰合同銀行）
- ・小川 智子（島根県立大学）

## 保健師職能集会

日時： 令和2年10月17日（土）

場所： 大田市あすてらす 参加者 28名



今年度の保健師職能集会は、「がん対策」をテーマに、様々な部署で活動する保健師の取り組みを聞き、今後の業務に活かすことを目的とし、新型コロナ感染症対策を行った上で開催しました。講師に島根産業保健総合支援センターの仲佐菜生子氏、雲南市立病院健康推進課の松浦秋湖氏、益田市役所健康推進課の鎌谷真由美氏の3名をお招きしてご講演いただきました。仲佐氏からは、「治療と仕事の両立支援対策」について、職場復帰に向け当事者社員、主治医、事業所とのきめ細やかな調整を図ることの重要性を、松浦氏からは、患者様そのご家族様との交流会の開催に

よって情報交換や病気に対する理解を深めるサロンの開催等具体的な取り組み事業のご紹介について、鎌谷氏からは、益田市のがん対策の取り組みと今後の課題（年代別の傾向をふまえ）についてお話していただきました。それぞれの職場で講じられている生の現場感を感じることができた貴重な時間でした。今回の交流集会には、看護学生（5名）の参加もあり、「将来の保健師像のモチベーションアップ」につながったといった明るい前向きな感想が聞け、参加者の皆さんも初心に立ち返ることができた有意義な時間となりました。講師の皆様ありがとうございました。



## 保健師職能研修会

日時： 令和3年1月23日（土）

場所： 出雲市庁舎 くにびき大ホール 参加者 33名

新型コロナ感染症を正しく理解するとともに、コロナ禍における保健活動の展開を学び、保健師の役割を考えることを目的に開催しました。とてもタイムリーな研修となり、参加者アンケートでは満足度が非常に高い（28人/32人中が「とても満足」と回答）研修となりました。新型コロナウイルスに関する専門職に必要な知識と情報を得ることができ、コロナ対応を通して「保健師としての専門性」を学んだ研修会となりました。（当日は会場変更や参加者の体調確認など感染症防止に配慮し実施しました）

### ○講演

テーマ「新型コロナウイルス感染症～これまでとこれから」

講師：隠岐保健所 所長 柳樂 真佐実 氏

新型コロナに関するこれまでの経過をふまえ、感染者を減らすためにこれからできることをご講演頂きました。講演では新型コロナウイルスの基礎知識、症状と治療、検査について、予防について、患者発生時の行政対応と疫学調査について、ワクチンについて、専門職としてもつべき正しい知識と最新情報をととても分かりやすく丁寧にお話いただきました。

「withコロナではなくNoコロナ」「ワクチンができて感染予防対策は引き続き必要」「健康の底上げに励みましょう」



## ○取組紹介

新型コロナ対応に関連して、伊藤氏、堀江氏にそれぞれの立場での取り組みや、日々の対応の中で保健師としての専門性や役割について感じた思いなどもお話しいただきました。コロナ対応の実際について行政専門職の貴重なご経験を通じて学ぶことができました。また、永江副会長からは、公衆衛生看護活動を行う保健師の倫理についての基本をお話頂き、コロナ禍においてコロナ差別や人権問題について向き合い、きちんと倫理観をもって専門職としての仕事をする事の意義を学びました。保健師としての専門性や役割、責務について、改めて考えることができた時間となりました。



### ◇「新型コロナウイルス感染症対応～高齢者施設の対応から～」 島根県健康福祉部 高齢者福祉課 伊藤 恭子 氏（介護保険・ 介護人材スタッフ）

「保健師は専門職としてずっと同じことができる環境にあり、長く活動ができること＝「専門性」ではないか」 or 「どの部署に置かれても「みる、つなぐ、動かす」ことができるのが保健師の強みであり責務であり専門性」

### ◇「新型コロナウイルス感染症の対応から学んだこと」

#### 松江保健所 健康推進課 課長 堀江 亜由美 氏

「コロナ対応は特別なことではなく、普段の保健師活動の延長線上にある」「保健師は感染症対応には不可欠な専門職」



### ◇「保健師活動と倫理 ～倫理的行動の必要性和根拠～」

#### 島根県看護協会 副会長 永江 尚美 氏

『公衆衛生看護の倫理的実践における原則：保健師の最も重要な使命と責任は、対象である「人々の人権を守る」こと』

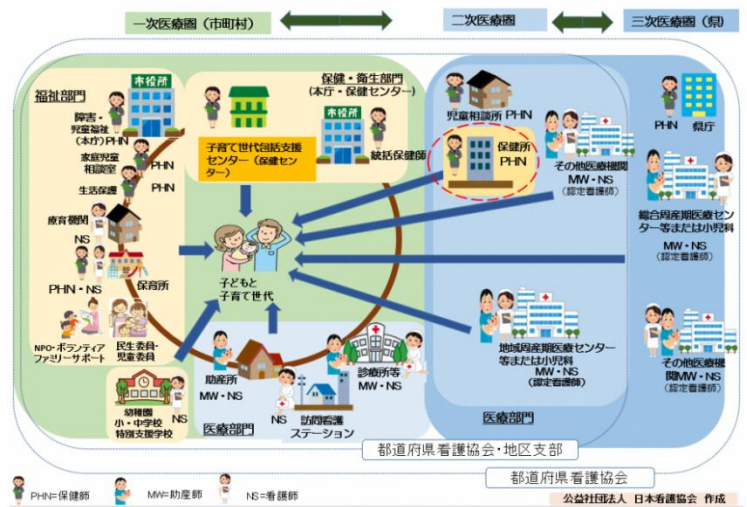


## 母子のための地域包括ケアシステム推進に向けて

日本看護協会では、「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの構築」を重点政策・事業に揚げ、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援体制の整備に取り組んでいます。

今年度、島根県看護協会では、令和2年10月10日（土）に保健師と助産師合同の職能委員会を開催し、それぞれが実践で抱えている課題について共有しました。産後うつや医療的ケアを必要とする子どもの在宅支援が増加する中、切れ目のない支援体制を構築するためには、両職能の連携と協働が不可欠であることを再認識しました。

保健師職能委員会では、次年度も助産師職能の連携を強化する取り組みを進めていきたいと考えています。



図：子どもと子育て世代を対象にした地域包括ケア 看護のネットワーク

はじめまして！新任保健師です

## 隠岐保健所 地域健康推進課 保健師 <sup>きや</sup>規家 <sup>みさき</sup>美咲

島根県の保健師として採用されてから10ヶ月が経とうとしております。私の最初の勤務地は隠岐の島です。島根県民でありながら、今まであまりご縁がなかった土地でしたが、豊かな自然と美味しい山海の幸、温かな人柄の地域性に日々魅了されています。

今年度はどの部署でもコロナ禍でのスタートとなり、地域と交わる機会が大きく減少したと思います。本来であれば私にとっても4月は新しいつながりをつくる大切な時期でしたが、住民の方々と会えない、保健師の同期ともつながることができない等が重なり、漠然とした不安が募っていました。しかし、保健師の先輩方は、今だからできる保健活動は何かと発想を変えて動き続けておられました。その背中を見て、地域活動がもつ可能性の広さや深さを学び、何より私もその保健師の一人として働けることに喜びを感じることができました。

現在は、ウィズコロナの対策を行いながら地域活動に参加したり、家庭訪問を通じた関係づくりをしたりと「つながり続ける」大切さを実感しています。スロースタートの2020年でしたが、これからも保健師として、また、人としても一歩一歩成長できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 邑南町役場 保健師 <sup>たけうち</sup>竹内 <sup>よしき</sup>芳騎

私の趣味（チーム）にはたくさんのメンバーがいます。高1で加入したギター、大学からのラップやスノボなんかがスタメンです。夏にはマジックが、1月からビートボックスが新たに加入しました。彼らは（私と同じで）新人ながらやる気に満ちています。反対に、数年間補欠のメンバーもいます。読書やプロレスは「もう趣味（チーム）辞めようと思う」と言っており、脱退は時間の問題でしょう。何かを続けるのは大変で、やる気や「自分に必要だ」という気持ちがないと優先順位が低くなり中断してしまいます。

私は2年目になり、運動や健診結果報告会を担当し、担当地区では個別支援を経験しましたが、継続に繋げるのは難しいです。必要だと感じ、継続しようと思えるような支援ができるように努力の日々です。私自身も、今の趣味だけをしっかりと続けていこうと思います…あっ、ありがとうございます～！今あちらの方から「漫才」をいただきました！趣味はなんぼあってもいいですからね。

### ご案内

「島根県立大学出雲キャンパス 客員教授特別講演」

講演テーマ：～ 看護を武器に、より良い社会づくりに貢献する ～ オンデマンド講義

講師：大分県立看護科学大学理事長・学長(東京大学名誉教授) 村嶋幸代 氏

視聴を希望される保健師の皆様にオンデマンド配信します。令和3年3月31日までに、以下までメールにて申し込みください。申し込み後、視聴URLをお送りします。

【申し込み&問い合わせ先】島根県立大学出雲キャンパス 小川智子宛 E-mail [trogawa@u-simane.ac.jp](mailto:trogawa@u-simane.ac.jp)

\*毎年、保健師職能だよりを楽しみにしていただきありがとうございます。保健師職能だよりは、各会員の皆様に印刷の上、送付しておりましたが、次年度からは、会員の方が所属される所属機関または施設に1部ずつの配布とし、島根県看護協会のホームページにUp致します。ぜひ、島根県看護協会のホームページをご活用ください。

今年度も島根県看護協会保健師職能の活動にご支援賜り、誠にありがとうございました。